

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	公益財団法人 老年病研究所附属病院
所在地	群馬県前橋市大友町3-26-8
沿革	昭和56年 一般病床（急性期）53床にて開院 62年 一般病床（急性期）56床を増床し、計109床 平成8年 一般病床（急性期）34床、療養病床52床を増床し、計195床 12年 療養病床52床を回復期病床に転換 18年 療養病床58床を増床し、計253床（一般143、回復52、療養58） 28年 一般病床（急性期）4床を回復期病床に転換（一般139、回復56、療養58） 29年 療養病床58床を回復期病床に転換計253床（一般139、回復114） 現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	253 床	0 床	139 床	114 床	0 床	床
平均在院日数	0.0 日	16.6 日	54.5 日	0.0 日	3年度状況	
病床稼働率	0.0 %	82.7 %	93.1 %	0.0 %		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	253 床	0 床	139 床	114 床	0 床	0 床	0 床
		(地ケア30, 感染5倉)					

2025年に向けた病床活用の見通し	今後病院施設整備を進める中で、脳神経内科、循環器内科、脳神経外科、整形外科、眼科等を中心とする急性期医療を提供するとともに急性期から在宅までの医療サイクルに不可欠な回復期リハビリテーション機能と地域包括ケア機能を強化し、地域医療の充実を図る。また、今回のコロナ感染症の現状から、ケアミックス病院としても必要な対策を講ずる。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	17 科（内科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、心臓血管外科、麻酔科、リハビリテーション科、リウマチ科、眼科、歯科、歯科口腔外科、皮膚科、消化器内科、循環器内科、泌尿器科、病理診断科、放射線科）
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション								



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、地域包括ケア、感染症（コロナ等）								

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	地元診療所	群大医学部附属病院	済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	群大医学部附属病院	前橋赤十字病院	済生会前橋病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 高齢者医療への 取り組み	今後も進展する超高齢社会の中で、脳卒中、認知症、骨粗鬆症、骨折等の高齢者に多い疾病を中心に多職種連携によるチーム医療を提供している。
特徴的な 在宅復帰に向け ての連携体制	急性期から回復期リハビリテーション、在宅医療に至る一貫した医療体制のもとに、超強化型老人保健施設、地域包括支援センターとの連携、さらに関連介護施設等との協力により、医療と介護の両面から在宅復帰できるようサポート体制を敷いている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は①地域の健康を守るための研究と実践②疾病の予防と治療に役立つ看護・介護の推進③高齢社会における健康・医療・福祉のネットワーク作りの3点の実現を理念としている。 ・病院の診療機能と研究所の研究機能が有機的に連動し、診療面でのレベルアップが図られ、良質な医療を提供している。 ・高齢の患者様が多く、特に親切ていねいな対応に心掛けている。 ・在宅復帰に重要な役割を果たすセラピストは、質、人員共にトップクラスにあり、地域の健康づくりに貢献している。 ・施設整備と救急体制の一段の強化が必要とされている。
当院の未来像	<p>将来的に病院施設整備を視野に、当院の理念と群馬県保健医療計画、まえばしマイルプランを踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳神経内科、循環器内科、脳神経外科、整形外科、眼科等を中心とする専門分野を生かした医療を目指す。 ・急性期から在宅医療までの医療サイクル形成のため、さらに質の高いリハビリテーションと地域包括ケアを実施する。 ・第二次救急病院として、組織的、人的整備を図り救急受け入れ体制の充実を図る。 ・研究機能として、論文・学会発表、講演会・セミナーの開催を通して、一層情報発信力を高め、地域への還元を進める。 ・前橋西部における地域包括ケアシステムを踏まえた地域密着型の特色ある病院として、さらにその機能を果たしてまいります。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に軸足を置いて、患者中心の医療の提供と地元診療所や社会福祉施設、行政と協力して、地域全体の健康づくりを進めます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団 善衆会 善衆会病院
所在地	群馬県前橋市筑井町54番地1
沿革	昭和58年：泌尿器科単科45床にて開院 昭和60年：救急医療機関指定 平成02年：許可病床208床（118床増床） 平成14年：許可病床の変更（208床→198床） 平成28年：新病院開院一般病床198床（一般病棟156床・地域包括ケア病棟42床）透析39台

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	198 床	床	156 床	42 床	床	床
	平均在院日数	日 14.0	日 15.0	日	日	
	病床稼働率	% 91.5	% 103.5	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	198 床	床	156 床	42 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	①今後も整形外科の手術治療と術後のリハビリテーション機能の充実と②泌尿器科、内科、外科と透析を中心とした医療機能の充実を図る。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	6 科（形外科・泌尿器科・内科・外科・麻酔科・リハビリテーション）
------	-----------------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		透析			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		透析			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群馬大学医学部附属病院	ぐんまスポーツ整形外科
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	群馬大学医学部附属病院	伊勢崎市民病院

5. 当院の特徴について

特徴的な スポーツ整形外科 を軸とした医療	スポーツ障害治療を内視鏡機器の備わった最新の手術室にて、膝関節疾患（前十字靭帯・半月板損傷）、また肩関節、足関節など関節疾患に対する鏡視下手術。さらには低侵襲による人工股関節、人工膝関節、骨切り術、脊椎手術を施行している。また麻酔科、内科、泌尿器科、外科の専門医同士が密に連携を図り手術や全身管理を念頭に置いた診療を提供している。
特徴的な リハビリテーショ ン体制	スポーツ傷害、整形外科、泌尿器科、内科、外科患者の術後や急性期治療後のリハビリテーションを一般病棟、地域包括ケア病棟、外来、リハビリ特化型デイケアを中心に実施している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ整形外科、整形外科疾患全域においては専門的な治療、特に（膝・人工関節）においては、群馬県内で唯一の最新のナビゲーションシステムを利用した包括的で良質な手術を提供している。その他、膝軟骨欠損に対する自家培養軟骨細胞移植術、難治性の腱、靭帯障害に対するESWTやPRP治療にも積極的に取り組んでいる。術後、急性期後のリハビリを中心に質の高い医療を提供している。 ・泌尿器科は、前立腺癌を早期発見するためにPSA検査や前立腺検診を実施し手術療法・内分泌療法を推奨している。尿路結石の治療はESWL、膀胱癌には内視鏡手術を実施している。 ・内科は、透析を主軸とし、老年病、呼吸器疾患、腎疾患等、高齢者総合診療を行い、周辺医療機関、介護施設等から積極的に受け入れを行っている。旧跡地にリハビリ特化型デイサービスを開設している。 ・外科は胃内視鏡、ヘルニア手術を中心に診療を実施している。 ・救急の診療は、夜間は1名体制のため医師の配置（診療科）によって対応できない場合がある。 ・訪問診療部門設置、訪問看護ステーションや訪問リハビリを開始し、積極的に在宅診療を行っており、2020年4月には居宅介護支援事業所を開設し、地域包括ケアシステムの構築を目指している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・診療科数は、現状のまま全診療科で医師の増員を進め、診療実績と現有機能の向上を目指す。 ・整形外科は、医師の専門分野を活かし手術を中心とした診療体制と最先端の再生医療を更に目指す。泌尿器科、内科、外科は、地域の病院、診療所との連携から急性期後や亜急性期、二次健診の受け入れを積極的に行い、治療や手術の診療実績を向上を目指す。 ・地域包括ケアシステムの構築に向けて急性期から在宅に至るまで訪問診療、血液透析、リハビリ、デイサービス等の機能を最大限有効活用する。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>受診者の皆様適切に対応し安全な医療を提供します。健康長寿、生涯スポーツを目指して各種運動療法の普及のための講演や実演をリハビリテーション部と協力して行います。スポーツ外傷、ロコモティブシンドロームの予防医療、スポーツ外傷手術、人工関節治療、再生医療等最先端の治療にも積極的に取り組んでいきます。また多疾患を抱え認知機能の低下を伴った高齢者に対して高齢者総合診療を行います。今後は、地域包括ケアシステムの構築に積極的に担い、地域の医療機関および診療所、介護施設と連携し、手術診療とリハビリテーションを通じて地域医療に貢献したいと考えます。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	前橋協立病院	
所在地	群馬県前橋市朝倉町828-1	
沿革	1952：協立診療所開設（8床） 1961：協立病院と改称（38床） 1980：朝倉町に移転、前橋協立病院と変更（197床） 1985：208床許可 1990：前橋市病院群輪番制病院指定 1998：199床許可 2015：189床許可 1976：68床へ増設 1981：200床許可 1986：209床許可	

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	189 床	床	105 床	51 床	33 床	床
	平均在院日数	日	19.4 日	69.7 日	166.5 日	
	病床稼働率	%	84.2 %	92.0 %	87.3 %	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	156 床	床	105 床	51 床	床	33 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期105床のうちの32床を地域包括ケア病床として、更にサブアキュート、ポストアキュート及び在宅支援機能を地域で生かしていく。そのためにも急性期病院や市内開業医、介護などとの連携を強化し地域包括ケアシステムの構築に貢献する。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	8 科（内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科）
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地	○	周産期	○	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群馬大学医学部付属病院	済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	群馬大学医学部付属病院	済生会前橋病院

5. 当院の特徴について

特徴的な かかりつけ医	バイオ・サイコ・ソーシャルの視点を持った全人的医療を提供している。いくつもの疾患をかかえた患者さんの主治医となり、総合診療を行っている。
特徴的な リハビリテーション	回復期リハビリテーション病棟をもち、脳卒中地域連携クリニカルパス 大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパスの患者さんを受け入れている。また、在宅の患者さんを支えるために訪問リハビリテーション、特化型を含む2つの通所リハビリテーション施設を行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	現在、在宅・高齢者医療を含む総合診療、リハビリテーション、整形、小児、産婦、眼科診療を行っている。在宅療養支援病院として、月70件の訪問診療を担っている。51床の回復期リハビリテーション病棟と32床の地域包括ケア病床を有し、ポストアキュート、サブアキュート機能を担っている。高齢にともないいくつもの疾患を持つ患者者さんに対し、かかりつけ医として総合診療を行っている。
当院の未来像	病気をかかえながら地域で暮らす患者さん・利用者さんのくらしを支える生活支援型病院を目指します。医療介護の連携を強化し、「だれもが人間らしく安心してくらし続けられる」地域包括ケアシステムづくりをすすめます。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	私たちの病院は、無差別・平等の医療と福祉の実現を理念に掲げ、開設当初から差額ベッド料を頂いていない医療生協の病院です。この理念の実現のために無料・定額診療事業にも取り組んでいます。また、地域で暮らす患者さん・利用者さんがその人らしく生きがいを持って暮らせるために支援していきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	前橋城南病院
所在地	群馬県前橋市富田町1172-1
沿革	平成1年：一般病床82床にて開院 平成8年：20床増床し、102床となる 平成10年：60床増床し、162床となる 平成18年：一般病床60床、療養病床101床とする。 平成26年：新病棟完成 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	161 床	床	60 床	床	101 床	床
	平均在院日数(※1)	日	57.5 日	日	224.0 日	
	病床稼働率(※2)	%	91.0 %	%	95.0 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	161 床	床	60 床	床	101 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	救急から回復期、及び慢性期・緩和ケアまで幅広い患者を受け入れる体制を作っていく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科 (内科、循環器・腎臓内科、精神科、外科、肛門外科、心療内科、消化器内科)
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能		ガン末期、重度の脳梗塞後遺症、covid-19患者のケア								



将来(2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
	「その他」の具体的な機能		上記と同様、他にリハビリを充実し在宅復帰を促進する。								

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群大附属病院	群馬中央病院
主な紹介先医療機関	赤城病院		

5. 当院の特徴について

特徴的な 高齢者へのケア	超高齢化社会において、20年以上重度の脳梗塞後遺症や認知症患者のケアを行っており、機械浴槽やベッド上での身体清潔ケア、及び状態に適した褥瘡処置等を提供している。
特徴的な 感染対策	高齢者が多い為、入院時から感染チェック（既往症のチェック、皮膚の状態等）に重点を置いている。 集団感染を起こす可能性があるインフルエンザ・結核・ノロウイルス感染症・疥癬等は、特に注意しています。感染が疑われる場合、個室・コホート管理を行い、職員への周知を徹底させています。 施設外で感染症等が流行している時期には、患者及び職員の予防接種を行っています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	急性期・慢性期、及び終末期の患者を受け入れています。 地域医療へ貢献出来るよう積極的に取り組んでおり、自宅や施設へ退院出来るよう看護をしています。 また終末期の患者には、平穏な療養生活が過ごせるよう、より患者に寄った看護を心掛けています。
当院の未来像	救急を行い軽度から重度の患者、在宅復帰から緩和ケア及び看取りまで幅広く患者を受入れ、地域に貢献していきたいと考えています。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	当院は、性別・年齢や臓器にとらわれる事無く診療し、クリニック並みの気軽さがあります。 各種検診も行ってまいります。 患者様一人一人のニーズに合わせ、日々の診療から急変時、最期の時まで人生を共にする包括的医療を目指しています。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人一羊会 上武呼吸器科内科病院
所在地	群馬県前橋市田口町586-1
沿革	平成元年 一般病棟65床にて開院 平成9年 15床を増床し計80床となる 平成19年 30床を増床し計110床（一般病棟60床・療養病棟50床）となる 平成21年 10床を増床し計120床（一般病棟60床・療養病棟60床）となる 平成29年 一般病棟60床のうち8床を地域包括ケア病床に転換 令和5年1月 地域包括ケア病床8床を一般病床に転換 現在に至る

2. 病床について （病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	120 床	床	60 床	床	60 床	床
	平均在院日数(※1)	日	23.0 日	日	208.0 日	日
	病床稼働率(※2)	%	74.5 %	%	93.2 %	%

※1 在棟患者延べ数（年間） / （新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	120 床	床	60 床	床	60 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期疾患患者に対応した一般病棟と、慢性疾患で長期入院が必要な患者に対応した医療療養病棟を持ち、地域の多様なニーズに対応できる体制を維持する。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	7 科（内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、循環器内科、神経内科、リハビリテーション科）
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	○ がん	○ 脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学附属病院	前橋赤十字病院	渋川医療センター
主な紹介先医療機関	群馬大学附属病院	前橋赤十字病院	渋川医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な 診療科目等	開院当初より呼吸器疾患診療を中心に掲げ、多くの喘息、COPD患者が県内外から受診されている。その他、消化器疾患、肝疾患、糖尿病・内分泌疾患についてもそれぞれの分野の専門医が専門的診療を行っている。神経内科においては神経難病の入院患者も多く受け入れ、レスパイト入院にも対応している。リハビリテーション科では、呼吸器・運動器・脳血管疾患等のリハビリテーションを提供している。また日本呼吸器学会認定施設（内科系）、日本アレルギー学会認定教育施設として研修医の指導や専門外来診療を行っている。
特徴的な 関連施設	法人内に介護老人保健施設一羊館、訪問看護ステーション芳賀を有している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	一般病棟では急性期医療を行っている。また、介護施設等で療養している患者の急性増悪を受け入れるサブアキュート機能、大学病院等での高度急性期治療を終えた患者の継続的治療やリハビリテーションを中心とするポストアキュート機能も担っている。 療養病棟では急性期医療の治療を終えても、引き続き医療提供の必要度が高い患者を当院一般病棟や他院等から受け入れている。
当院の未来像	入院においては今後も、急性期疾患患者に対応した一般病棟、急性期治療を終了しても在宅復帰が困難で、引き続き医療提供の必要度が高い患者を受け入れる医療療養病棟を維持する。 外来においては地域のかかりつけ医としての役割を担う。 地域の病院、診療所、施設等との連携を深め、患者やこの地域のニーズに合った医療を提供していく。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	一羊会は、平成元年に上武呼吸器科内科病院からスタートしました。病院では「きちんと治す」ことを主眼に診療にあたってまいりました。今後は、きちんと治すことに加えて、病院、介護老人保健施設一羊館、訪問看護ステーション芳賀、いずれにおいても患者や利用される「皆様とともにある」医療、福祉サービスの提供を心がけてまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人相生会 わかば病院
所在地	前橋市新前橋町3-3
沿革	平成10年：一般病床67床、療養病床41床、透析室20床にて開院 平成12年：透析室拡張30床 平成13年：一般病床65床、療養病床43床に変更 平成14年：透析室拡張41床 平成26年：一般病床66床、療養病床42床に変更 平成27年：透析室拡張50床 令和3年：一般病床60床に変更（うち地域包括ケア病床12床開設） 現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	102 床	床	床	60 床	42 床	床
平均在院日数(※1)	日	日	36.0 日	338.0 日		
病床稼働率(※2)	%	%	77.4 %	84.3 %		

※1 在棟患者延べ数（年間） / （新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	102 床	床	床	60 床	42 床	床	床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	透析及び腎不全患者に対する治療の充実を図る。また、腎臓病・リウマチ疾患・脳卒中・肺炎や整形外科のサブアキュートやポストアキュート状態の患者を受け入れ、回復期～慢性期の治療を継続する。そのためにリハビリテーション機能の充実と在宅復帰に向けた取り組みを強化していく。
---------------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	8 科（内科、呼吸器内科、循環器内科、外科、リウマチ科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科）
------	--

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	透析、回復期リハビリテーション、地域包括ケア病床、医療療養病棟、訪問診療									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の 具体的な機能	透析、回復期リハビリテーション、地域包括ケア病床、医療療養病棟、訪問診療									

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群馬大学付属病院	済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	群馬中央病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な 病棟機能	<p>病状や治療の内容などによって、他院の回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟での入院治療が困難な患者を積極的に受け入れ、リハビリテーション、治療を提供している。透析患者のリハビリテーション、慢性期治療に対応している。</p>
特徴的な 関連サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 身体の障害や交通手段が確保できず、通院困難な透析患者に対し、自宅までの無償での送迎を行っている。 • 法人内に2カ所の透析クリニックを有し、様々な状態の透析患者に対応している。 • 訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所を開設し、医療～介護まで地域の幅広いニーズに対応している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 血液透析関連の医療ならびに、内科疾患、脳血管疾患、整形外科疾患の亜急性期、回復期、慢性期の医療とリハビリテーションを提供している。 • 地域包括ケア病床を開設し、サブアキュート、ポストアキュートの患者を受け入れ、在宅復帰に注力している。
当院の未来像	<p>地域の医療機関との連携を深め、引き続き透析医療と、亜急性期から慢性期医療の提供を継続する。在宅での医療・介護のニーズに幅広く答える事業を展開していく。</p>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>在宅療養中の方、施設に入所されている方が体調を崩し、入院が必要となった場合から急性期治療後の回復期リハビリテーション、慢性期の長期療養まで幅広い状態の患者様に対応します。</p>

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 積心会 富沢病院
所在地	群馬県前橋市朝日町4-17-1
沿革	1971年 富沢整形外科医院開設 // 19床 有床診療所（救急指定） 1986年 一人医療法人 富沢整形外科医院（19床）に改組 1989年 医療法人 積心会 富沢病院（80床）に改組 （一般病床32床、療養病床48床） 2001年 増改築し、一般病床48床、療養病床32床 2010年 一般病床48床、回復期リハビリテーション病床32床に変更し、現在に至る

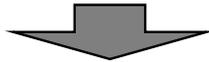
2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	80 床	床	48 床	32 床	床	床
	平均在院日数	日	32.0 日	60.0 日	日	日
	病床稼働率	%	75.0 %	97.0 %	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計						廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期				
	80 床	床	48 床	32 床	床	床	床	

2025年に向けた病床活用の見通し	現在の状態を維持したいと思うが、スタッフの充実の度合によっては、変更を余儀なくされることも考慮している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	5 科（ 整形外科、外科、内科、リハビリテーション科、麻酔科 ）
------	----------------------------------

現在	がん	○	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	○	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	○	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群馬中央病院	上毛病院
主な紹介先医療機関	同上	同上	同上

5. 当院の特徴について

特徴的な 	救急告示医療機関として、大腿骨頸部骨折、上腕骨骨折、下肢・前腕の骨折、脊椎骨折、アキレス腱断裂を始め、運動器疾患、手術に応需できる体制を整えている。（全身麻酔・脊椎麻酔に対応している）
特徴的な 	術前・術後の早期リハビリテーションに対応できる体制を整えており、病者の回復改善、社会復帰を目指している。 日常外来診療の充実をはかっている。 救急医療体制の維持に積極的に参加しています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>1.前橋市及び周辺の各種老人施設からの大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、腰椎圧迫骨折の紹介患者が多く、可及的、早期に病状の把握を行った後、手術が必要な患者は手術を行い、早期に施設に戻れるよう努力しています。</p> <p>2.スポーツ外傷、労働災害に対応しています。</p>
当院の未来像	<p>運動器疾患に対して、正しい診断のもとに、適切な手術、処置を実施し、早期社会復帰ができるように努力する。</p> <p>地域医療連携体制が十分に活用できるよう努力する。</p> <p>救急医療体制の維持のために、スタッフの充実を図りたい。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	手術の適否、しっかりとした方針の下に、患者さん並びにご家族の希望を十分に考慮にいられて、治療方針を検討したいと思います。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人五紘会 東前橋整形外科病院
所在地	前橋市西大室町1302番地2
沿革	<ul style="list-style-type: none">平成28年10月：一般病床（急性期）60床にて開設令和元年8月：一般病床（急性期）を40床に減床令和元年8月：回復期リハビリテーション病床20床を開設現在に至る

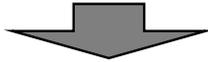
2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	60 床	床	40 床	20 床	床	床
平均在院日数	日	14.6 日	29.3 日	日	日	日
病床稼働率	%	76.0 %	71.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



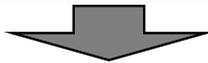
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	60 床	床	60 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<ul style="list-style-type: none">今後も整形外科の手術療法を中心とした専門性の高い、高度な医療を患者様へ提供していくとともに、急性期医療を経過後の患者様に対するリハビリテーション機能の充実を図っていく方針です。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科 (整形外科・リハビリテーション科・麻酔科)
------	-----------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	○ 救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	吾妻東整形外科	フォレスト整形外科クリニック	
主な紹介先医療機関	吾妻東整形外科	フォレスト整形外科クリニック	

5. 当院の特徴について

特徴的な 専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脊椎側弯、腰椎、膝関節、足の外科、手の外科、スポーツ整形、骨粗鬆症治療を専門とする整形外科単科の病院です。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整形外科単科の病院として専門性を活かし、質の高い、高度な医療を患者様に提供しております。 ・ 急性期の患者様のみならず、地域のかかりつけ病院としての医療を幅広く実施しております。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の病院及び診療所との連携を深め、患者様に対して利便性の高い病院となることを目指します。 ・ 脊椎側弯、腰椎、膝関節、足の外科、手の外科、スポーツ整形、骨粗鬆症治療を専門とする整形外科単科の病院として、急性期医療から社会復帰まで患者様を支援いたします。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「人にやさしい」「質の高い」「地域に貢献できる」病院を基本理念として専門性の高い、高度な整形外科医療を実施しております。 ・ 「脊椎外科」では患者様のお身体への負担が少ない低侵襲な脊椎外科手術を安心して提供するため、脊椎内視鏡手術に積極的に取り組んでいます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	山王リハビリテーション病院
所在地	前橋市山王町133番地
沿革	当法人は、前橋市山王町で介護老人保健施設 山王ライフ、グループホーム、介護付有料老人ホーム 山王レジデンスを同一敷地内で展開しており、平成24年6月に山王リハビリテーションクリニック（19床）を「山王リハビリテーション病院」（一般病棟50床）に変更し、現在に至っております。

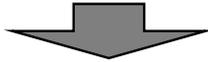
2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	50 床		床	床	50 床	床	床
平均在院日数		日	日	66.4 日	日	日	
病床稼働率		%	%	57.7 %	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



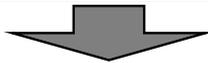
将来 (2025年)	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	50 床		床	床	50 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	病床数は現行を維持し、今後も急性期病院の他、高齢者施設、在宅からの入院患者様の受け入れを継続し、リハビリテーションの充実を図る。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (内科・呼吸器内科・消化器内科・リハビリテーション科・皮膚科)
------	---------------------------------------

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	廃用症候群のリハビリテーション							



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急		災害		へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	前橋協立病院	済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	福山内科	山王医院	清宮医院

5. 当院の特徴について

特徴的な 患者様対応	入院患者様は、高齢者が中心で、急性期病院等からの転院の他、老人施設、在宅からの入院を受け付けている。
特徴的な 受け入れ体制	前橋赤十字病院等との急性期病院との連携、情報の共有化を強化しており、転院患者様のスムーズな受け入れに努めている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	急性期病院、在宅からの患者様の受け入れの他、同一敷地内の老健施設、介護付有料老人ホーム、グループホームの入所者様の状態により、診療、入院等の対応を行っている。
当院の未来像	長期入院患者様の受け入れや、リハビリテーションの強化を図る。具体的な活動としては、診療所・老健・デイサービス等の訪問を継続する他、退院後の患者様への訪問を行い、現況の把握に努める。また、現在の体制を維持し、患者様への対応力の向上を図り、地域から信頼される病院を目指す。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	リハビリテーションを強化し、急性期病院の受け皿的な位置づけを継続すると共に、在宅からの患者様の受け入れの他、退院後の患者様への訪問により現状を把握できる体制を強固にしたいと考えております。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	群馬ペインクリニック病院
所在地	群馬県前橋市亀里町359
沿革	平成元年6月 一般病床50床にて開院 平成26年4月 医療法人化 現在に至る。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	50床	床	床	50床	床	床
平均在院日数(※1)	日	日	17.4日	日	日	
病床稼働率(※2)	%	%	13.8%	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	50床	床	床	50床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	3階フロアを回復期リハビリテーション病棟(20床程度)に変更
-------------------	--------------------------------

3. 医療機能について

診療科目	4科(麻酔科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科)
------	-------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	ペインクリニック				



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	ペインクリニック、リハビリテーション				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	清水耳鼻咽喉科	木村ペインクリニック	飯塚耳鼻咽喉科
主な紹介先医療機関	群馬中央病院	善衆会病院	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な ペインクリニック	麻酔科・整形外科連携により、患者様の痛みの原因を見つけ出し、ブロック療法適応であれば速やかに対応できる。突発性難聴や顔面神経麻痺等はブロック療法と高気圧酸素治療法を併用した治療を提供している。
特徴的な 医療機関との連携	総合病院の非常勤医師による脊椎専門外来を開設。保存的治療と手術等の相談を含めた診療を行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症等、脊椎疾患による疼痛患者様の来院が多い。適応があれば外来通院によるブロック治療を行い、症状改善が無ければ入院により持続的な治療に移行することもある。麻酔科医と整形外科医との総合的な診断で治療を行っている。
当院の未来像	麻酔科、整形外科に脳神経外科が加わり、脊椎疾患に対して総合的な診断で治療を行う。病棟三階部分を回復期リハビリテーション病棟とし脳血管リハビリテーションを行っていく。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	引き続き地域の患者様との繋がりを大切にし、時代の流れに沿った医療技術は元より、看護の質を高めながらより良い医療を提供できるよう努めていきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人前橋北病院
所在地	群馬県前橋市下細井町692
沿革	平成2年：一般病棟（急性期）40床にて個人病院として開院 平成12年：医療法人設立 平成26年：医療法人前橋北病院が不動産設備を院長より買入れ現在に至る

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	40	床	床	床	40	床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	32.0	日	日	
	病床稼働率(※2)	%	%	103.1	%	%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	40	床	床	床	40	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期病棟として高度の医療サービスを提供していくとともに救急医療を終えた患者様に対して地域包括ケア病床での医療サービスの提供を行っていきます。 また、新たに増築したリハビリ室にて患者様の充実したリハビリの提供も行っております。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	7科（内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、アレルギー科、神経内科、内分泌内科）
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション機能						



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群大HP	前橋日赤病院	群馬県済生会前橋病院
主な紹介先医療機関	群大HP	前橋日赤病院	

5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器科、神経内科を軸に院内で専門医同士が密に連携を図り、総合的に最適な医療を提供している。
特徴的な 看護師の充実	<ul style="list-style-type: none"> ベテラン看護師、若手看護師が切磋琢磨して患者様の親身になった看護活動により40床の病床を支えています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 患者様の全身管理を念頭に置き、早期発見・早期治療を心がけております。 人口増加が続く前橋北地域に立地しており（救急）協力病院として地域に根差した医療活動により地域に貢献しております。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 患者様の全身管理を念頭に置いた診療や健診などを充実させ早期発見、早期治療を心がけております。 前橋北地域に立地しており（救急）協力病院としての役割を果たすと共に地域の各医療機関や介護施設等と連携し地域医療に貢献していきます。
その他 （県民・受診者への メッセージ等）	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療はもちろんのこと、地域の皆さまが必要とする医療を技術と真心で提供してまいります。リハビリ施設も増築しており、より一層、地域の患者様に対する社会復帰を視野に入れたサポート体制を構築していく所存であります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	横田マタニティーホスピタル
所在地	群馬県前橋市下小出町1-5-22
沿革	昭和55年：開院 昭和59年：14床に増床 昭和62年：19床に増床 昭和63年：医療法人化 平成17年：医療法人愛弘会 横田マタニティークリニック開院 平成18年：医療法人愛弘会 横田マタニティーホスピタルに改称 30床に増床 平成20年：横田産婦人科医院不妊治療部門と統合し、35床に増床

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟中等	
	35 床	0 床	0 床	35 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
平均在院日数	0.0 日	5.8 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日	0.0 日
病床稼働率	0.0 %	57.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		廃止	介護保険施設 等への移行
	35 床	0 床	0 床	35 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	<p>少子化・未婚化・晩婚化などによる出生数の減少や後継者問題により近隣の分娩できる施設が減少していく中、分娩を担う地域の中心的施設として広い地域からのお産の受け入れを行っていく。</p> <p>また、注目され始めた産後ケア事業での受け入れも積極的に行う。</p> <p>さらに、増加傾向にある外国人患者にも利用しやすい施設づくりを目指す。</p>
---------------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	5 科 (産婦人科、生殖医療婦人科、小児科、麻酔科、精神科)
------	----------------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療	
	救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	その他
	「その他」の具体的な機能							



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	○	精神疾患	在宅医療	
	救急	災害	へき地	○	周産期	○	小児	その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	マザーズクリニックTAMURA	あかつきウィメンズクリニック	フクイ産婦人科クリニック
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部附属病院	群馬県立小児医療センター	群馬中央病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 安心の医療	当院では安心を何より大切にしている。そのため、産婦人科医の他、小児科医及び麻酔科医を常勤させていることをはじめ、プロフェッショナルな医師や医療スタッフの充実を図っており、胎児エコーによる異常の早期発見、安全な無痛分娩といった高い医療技術がある。 緊急時の迅速な対応にも自負があり、母体死亡はこれまでゼロである。
特徴的な メンタルケア	早くから妊産婦のメンタルケアに力を入れており、身体のケアだけでなく、精神的にも寄り添える医療を目指している。 現在では母親学級、産後2週間健診、1ヵ月健診、産後ケアと、産前・出産・産後それぞれの場面で状況に応じたケアを行っている。 また、助産師によるカウンセリングや精神科医による周産期メンタルケア外来も設けており、あらゆる相談に対応している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域における分娩数の減少がみられる中、当院では分娩の数にとらわれず、個々の診療の質を上げることに取り組んでいる。具体的には、日本超音波医学会認定の超音波検査士が行う胎児エコーによる異常の早期発見、常勤麻酔科専門医のもと行う安全な無痛分娩といったことなどが挙げられる。 また、病院に求められるものは広がっていることから、リラックス効果が期待できる産後ネイルの施術や退院後に行う産後ケア事業をいち早く始めるなど医療以外も幅を広げている。
当院の未来像	安全に出産できるようになった現在、病院を選ぶ基準は多様化している。患者さんの要望に合わせたプランを模索すると同時に、当院の方針と合致しているかを見極めをしっかりと行い、双方にとって良い出産を目指す。具体的には、以下の取り組みを検討していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・NIPTや着床前診断など、最先端の分野に対応し、医療の選択肢を増やす ・ホームページや各種書類の多言語化や医療通訳(電話)を導入し、外国人の方が利用しやすい施設づくり ・イベントの開催などを積極的に行い、まちに開かれた病院づくり ・キャッシュレス決済の導入
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	私たちが目指す病院は、安全で優しい空間を提供することです。 医師やスタッフはもちろん、技術だけではなく、設備や快適な空間が融合し、最高の医療を提供を目指しております。 女性が安心して来られる場所にすべく、女性医師・女性スタッフによる女性専用のクリニックはもちろん、受診時に患者さんが利用できる託児所も設置しております。 昭和55年の横田産婦人科医院開設以来、これまで扱った分娩数は3万人を超えています。 これまでの安全で優しい医療が、さらに“癒し”の医療へと昇華するよう、今後とも医師・スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人中沢会上毛病院
所在地	前橋市下大島町596番地1
沿革	昭和39年 1月：精神科・神経科2棟76床で開設 昭和58年10月：本館改築4棟324床 平成 9年 4月：本館棟増築一般病棟20床開設、精神科4棟314床 平成14年 8月：南棟新築 平成15年 2月：精神療養病棟承認、精神科病棟3棟194床、精神療養病棟120床、精神科デイケアきらら開所 平成19年 5月：認知症治療病棟1承認1病棟48床、精神科病棟15対1入院基本料3病棟146床 平成22年 9月：群馬県認知症疾患医療センター上毛病院指定 平成24年 8月：精神科急性期治療病棟1承認1病棟45床、精神科病棟15対1入院基本料2病棟101床 平成25年12月：特殊疾患病棟2承認1病棟60床、精神療養病棟1病棟60床 平成28年 6月：歯科部門開設 平成29年 6月：群馬県若年性認知症支援コーディネーター選定

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	20 床	床	床	床	床	20 床
	平均在院日数	日	日	日	27.0 日	
	病床稼働率	%	%	%	87.8 %	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	20 床	床	床	床	床	20 床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	慢性期病床ではあるが、主に高齢者の身体疾患に対応している。精神疾患の人、認知症の人も含まれている。疾患別には感染症、消化器内科疾患、心疾患、整形疾患の各急性期、脳卒中の亜急性期、糖尿病、がんなどに対応できる。リハビリテーション施設があり、回復期リハビリ的機能も有する慢性期病棟と自負している。精神科患者の身体疾患全般にも対応する。また、慢性期疾患の入院加療も対応している。関連の老人保健施設、介護施設と連携し、精神保健福祉士、ケアマネージャー、社会福祉士等と連携して退院支援を活発に行い、前橋市内だけでなく、他の市町村の病院・施設と連携を図って、在宅・施設復帰を目指している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	13 科 (精神科、心療内科、児童精神科、神経内科、外科、内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、婦人科、形成外科、歯科)
------	--

現在	<input checked="" type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		認知症疾患医療センター、老人保健施設			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input checked="" type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		周産期うつ、回復期機能を有する精神科病院			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋日赤病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部
主な紹介先医療機関	前橋日赤病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部

5. 当院の特徴について

特徴的な 医療と介護の連携	医療面では慢性期病棟であるが、高齢者の急性期から慢性期まで対応ができ、併設の老人保健施設、GH、介護付き有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、並びに近隣の複数の特別養護老人ホームと連携し、介護保険施設で対応できない、各種疾患のゲートキーパー的対応をしている。精神科があるので、せん妄、てんかん、老年精神病などの対応も併せて行える。認知症疾患医療センター、若年性認知症コーディネータがあるので認知症全般に対して広く対応している。
特徴的な 精神科と身体科の連携	内科（心臓血管）、外科、整形外科（リハビリ兼務）、歯科の常勤医師と非常勤医師（呼吸器内科、婦人科、神経内科、形成外科）を配している。そのため、精神科の入院患者と外来患者の身体疾患に常日頃から対応することができている。また、身体科の患者に対してもストレスによる心の問題やPTSD、外因性うつ病などにも対応している。ADLが低下しやすい精神科の患者に対してリハビリテーションを積極的に行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域包括ケアシステムに参画するために病院をスリム化し、精神疾患と身体疾患及び認知症にスピーディーに対応できる医療・介護の複合施設を構築している。精神障害者、若年性認知症の就労拠点として展開している。職員の意識・技術を高めるために職員教育に力を入れ、地域の医療機関、介護施設、地域住民と連携協力を深めている。医師会・行政・地域とさらに連携して地域包括ケアシステムの深化に努めている、オンライン資格確認を展開している。全世代型社会保障の2025年、2040年問題を克服すべく、病院機能、かかりつけ医機能をDXを用いて向上させ、オンライン診療等にも積極的にかかわっていただけるように経営者の世代交代にも取り組んでいる。
当院の未来像	こどもから大人・高齢者まで、多くの方の心の問題に対応できる医療介護福祉の総合的な場になりたいと考えています。PHR、EHR情報をもとに患者主体の医療・介護・福祉が行われるように積極的に関わっている。次世代医療基盤のプラットフォームができ、フラットな関係性の中で、全てが繋がる。医療・介護・福祉の情報はAIが管理し、人が情報を選択して医療・介護・福祉に関連する人は多くの時間を人のために使うことができるのである。地域社会で精神科の果たす役割が広く深く理解されている。健全な肉体と健全な精神は人が元気に生きていく双発製エンジンである。すべて患者、地域住民、働く職員の幸福実現に有機的に立っているのが当院の未来像である。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	こころの問題を抱えるのは統合失調症や内因性うつ病など精神科疾患の方だけではなく、家庭、学校、会社の人間関係、災害、身体的な病気などでも心の問題を抱えます。2040年までに日本の社会は全世代型社会保障の制度を完成を目指しています。少子高齢化の中で全世代の人たちの様々な負担が少なくなるように頑張っていくということです。誰しも明るい社会を求めていると思います。私たちは医療・介護・福祉に携わる者として、責任ある社会の一員として、皆様のお役に立てるように前進してまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 さるきクリニック
所在地	前橋市青梨子町178
沿革	2001年に泌尿器科・内科で開設した有床診療所。外来を中心とした医療提供を行っているが、前立腺針生検を含めて、週6~8件程の手術を行う。 2017年1月より透析ベッドを19床増やし、計40床にて透析治療を行っている。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	6 床	床	6 床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	5.7 日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	62.6 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	6 床	床	6 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在の病床機能を継続。
-------------------	-------------

3. 医療機能について

診療科目	2 科 (泌尿器科・内科)
------	-----------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析				



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部付属病院	前橋赤十字病院	前橋済生会病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 合併症を持った泌尿器科疾患の治療	内科疾患を伴った泌尿器科系疾患の治療。前立腺がん検診とタイアップした前立腺針生検（発見率60%）内服治療で限界にきた前立腺肥大症患者の外科的治療（TUR-P）を積極的に行っている。
特徴的な 快適な透析環境	各透析ベッドにテレビを設置、無料で視聴ができる。院内無料Wi-Fi環境もあり、透析中もインターネットを楽しめ、快適な時間が過ごせる。透析中間帯には「おやつ」の提供、透析後には食事の提供も可。患者さん一人一人にあった適切な透析治療にする為、個別に透析治療内容を検討している。また、個室透析室も整えており、希望があれば透析患者さんの送迎も行っています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	患者ファーストの姿勢で、インフォームドコンセント、エビデンスベーストメディシンを実行し、患者さんへの安心安全な医療提供をしている。救急対応、泌尿器科手術施行、腎不全時の透析導入等、急性期医療を担っている。また、県内病院群と連携し適切な医療を提供している。
当院の未来像	有床診療所として経費的に存続可能ならば、現在の医療提供を継続していきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	私たちの医療法人さるきクリニックでは適切な医療を誠実にご提供致します。家庭的な雰囲気の中で安心して治療に専念できるよう。また、退院されても具合が悪くなったらまた入院したくなるような医療機関を目指しております。当クリニックの診療科目（泌尿器科・内科）でお困りの方がおりましたら、お気軽にお問い合わせください。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医) 山本整形外科医院
所在地	群馬県前橋市西片貝町1-200
沿革	昭和52年 一般病床12床にて開院 昭和56年 一般病床6床に変更 平成30年 医療法人化

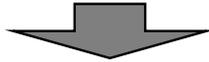
2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	6床	床	床	床	床	6床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	6床	床	6床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	建物の移動を行ってから入院に対応可能な体制が整えられていない。 病床整備し、術後患者や外来診療での体動できない患者への入院対応が可能な体制を整える
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	外科 (整形外科)
------	-------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	心臓血管センター	群馬中央病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 	外来診療中心ではあるが、手術加療を行っており、また脊椎圧迫骨折で体動困難な患者さんの治療も数多く行っている
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	
当院の未来像	できるだけ多くの患者さんに対応できるようにしたい。外来診療を中心としたクリニックではあるが、対応できる疾患の幅は大きく維持したい
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	小沢医院
所在地	群馬県前橋市樋越町15-1
沿革	

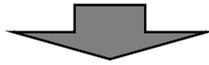
2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	14 床	床	14 床	床	床	床
	平均在院日数	日	6.0 日	日	日	日
	病床稼働率	%	31.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



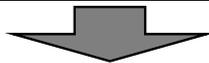
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	14 床	床	14 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在と同等の分娩体制で移行予定
-------------------	-----------------

3. 医療機能について

診療科目	2 科 (産婦人科、内科小児科)
------	------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 	地域に根ざした産婦人科医院
特徴的な 	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	産婦人科医院として月25～30件の分娩対応をしている
当院の未来像	地域の分娩を今と同等に担っていく
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	地域に根ざした産婦人科医院として医療の提供をしています。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 神岡産婦人科医院 ヒルズレディースクリニック
所在地	群馬県前橋市総社町総社3607
沿革	

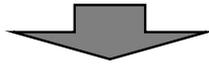
2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	18 床	床	18 床	床	床	床
	平均在院日数	日	4.5 日	日	日	
	病床稼働率	%	75.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



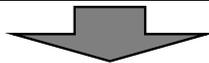
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	18 床	床	18 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現状と不変
-------------------	-------

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	群馬大学附属病院	群馬中央病院	前橋赤十字病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 小児科併設	神岡産婦人科医院と石倉町こどもクリニックはともに医療法人 神岡産婦人科医院が運営し、分娩に際しては産科医師・小児科医師の双方での診療体制が構築されている
特徴的な 女性医師が複数名 在籍	当院では3名の女性医師（産科）が勤務（常勤）

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	現状は18床の病床を有し、当面は増床の計画はなし。
当院の未来像	増床の計画はないものの、施設のリニューアル等、患者様がより快適に入院期間を過ごして頂けるよう取り組んで参る所存。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	これまでも、これからも患者様に安心・安全で快適にお過ごし頂けるクリニックを目指して日々精進して参ります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人相生会 西片貝クリニック
所在地	前橋市西片貝町3-292
沿革	西片貝クリニックは平成4年6月に、19床の入院設備と16台の血液透析装置をもつ有床診療所として開院しました。平成10年3月には医療法人相生会 西片貝クリニックとなりました当院は在宅医療にも力を注いでいます。現在19床の入院設備と50台を超える血液透析装置をもつ有床診療所となっております。

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	床	床	床	19床
	平均在院日数	日	日	日	26.9日	
	病床稼働率	%	%	%	42.6%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	床	床	19床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	・今後も透析療法(血液透析、腹膜透析)を中心とした医療を提供していくとともに、糖尿病や高血圧、虚血性心疾患、脳虚血性疾患などの腎不全に関連した合併症の慢性期加療ニーズは増えると考えられ、慢性期病棟の維持を計画しています。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	4科(内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ科)
------	-------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	透析療法(血液透析、腹膜透析)						



将来(2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	透析療法(血液透析、腹膜透析)						

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	わかば病院	大胡クリニック
主な紹介先医療機関			

5. 当院の特徴について

特徴的な 腎不全医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数名の腎臓学会専門医、透析医学会専門医が在籍しており、保存期の腎疾患診療、透析導入（腹膜透析含む）、内シャント造設や内シャント再建などの外科的診療、維持透析管理といった腎不全医療全体を総合的に提供しています。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の「かかりつけ医」として対応できるようフォローアップ中の疾病に対する管理を行うだけでなく、症状に応じた精査や加療を早期から行い専門性の高い領域に関しては総合病院との密な連携を心掛けた診療を提供しています。 ・ 腎臓、透析分野やリウマチ、膠原病分野においては、専門性の高い医療を提供するとともに、それら疾患の合併症等の加療にも対応しています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在展開している医療を軸として維持しながら在宅医療の分野においても発展を目指します。特に高齢者の在宅腹膜透析など、もともと当院の高い専門性が役立つと考えられる領域での訪問診療、訪問看護などの充実を図ります。 ・ 地域の病院及び診療所との連携をさらに深め、より質の良い全身管理を目指した医療を提供すべく努めていきます。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高いプライマリケアを含む一般内科診療や専門性を生かした腎臓、透析、リウマチ、膠原病診療を地域社会の皆様にご提供できるように努力しています。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	上毛大橋クリニック
所在地	前橋市川原町1丁目49-6
沿革	平成18年2月 : 一般病床19床・透析ベッド20床にて開院 平成24年12月 : 透析ベッドを10床増床し、計30床 平成27年12月 : 透析ベッドを41床（内準個室15床）増床し、計71床

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	19 床	床	床	床	19 床	床
	平均在院日数	日	日	日	65.4 日	
	病床稼働率	%	%	%	46.7 %	

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	19 床	床	床	床	19 床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	大きな病院とは異なった地域密着型の入院スタイルを充実させ、院内で専門医同士が密に連携を図り、クリニックでありながら、より総合的な入院治療に向け積極的に努めていく。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	科 (内科、リウマチ科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内科、消化器内科、皮膚科、リハビリテーション科)
------	--

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		透析療法、リハビリテーション					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能		透析療法、リハビリテーション					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部付属病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部付属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 透析クリニック	群馬県でも類をみない準個室の透析環境を整え、患者プライバシーに配慮しつつ、ストレスを軽減しながら透析治療を行っている。また、下肢筋力の維持、透析中の血圧低下防止等の効果を図るため、透析中のリハビリテーションに力を入れている。更に在宅透析にも積極的に取り組んでいます。
特徴的な	

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	一般内科に加えて、専門医療（腎臓、循環器、リウマチ）を有した有床診療所として、渋川市や吉岡町に接する前橋北部地域を診療区域としている。透析施設も平成27年に増床して、計71床の透析ベッドを用意して対応している。
当院の未来像	地域の有床診療所として、急性期病院から自宅や施設へ患者様がスムーズに移行できるよう、中間施設としての役割を積極的に努めていきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	当クリニックは、リウマチ・腎臓病・循環器病・糖尿病の専門外来を行っています。透析治療に関しては治療中にほかの患者様とのプライバシーを守るために準個室の透析室を用意しています。また、ご自宅で透析治療を行える在宅透析も多くの患者様に歓迎されています。専門医師たちと医療スタッフで県民の皆様の健康をお守りします。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	しらかわ診療所
所在地	群馬県前橋市上細井町2068-1
沿革	2006年 医療法人 恵泉会 せせらぎ病院附属 しらかわ診療所（一般病床19床）消化器内科・内科・人工透析・整形外科として開院 2007年 日本消化器内視鏡学会 認定指導施設となり、内視鏡医療に特化した診療所として充実を図る 2014年 医療法人 康倭会を設立し、医療法人 康倭会へ法人を変更 2014年4月 医療法人 康倭会 しらかわ診療所として診療開始

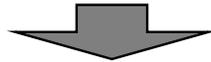
2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数	日	2.9 日	日	日	日
	病床稼働率	%	43.7 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	19 床	床	19 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	急性期医療に特化した病床稼働から、時代や患者のニーズに応えた幅広い疾患を総合的に診療できる病床稼働へと移行していく。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	3 科（ 消化器内科・内科・人工透析 ）
------	----------------------

現在	<input type="radio"/>	がん	<input type="radio"/>	脳卒中	<input type="radio"/>	心血管疾患	<input type="radio"/>	糖尿病	<input type="radio"/>	精神疾患	<input type="radio"/>	在宅医療
	<input type="radio"/>	救急	<input type="radio"/>	災害	<input type="radio"/>	へき地	<input type="radio"/>	周産期	<input type="radio"/>	小児	<input type="radio"/>	その他
		「その他」の具体的な機能		前橋市特定検診・人工透析								



将来 (2025年)	<input type="radio"/>	がん	<input type="radio"/>	脳卒中	<input type="radio"/>	心血管疾患	<input type="radio"/>	糖尿病	<input type="radio"/>	精神疾患	<input type="radio"/>	在宅医療
	<input type="radio"/>	救急	<input type="radio"/>	災害	<input type="radio"/>	へき地	<input type="radio"/>	周産期	<input type="radio"/>	小児	<input type="radio"/>	その他
		「その他」の具体的な機能		前橋市特定検診・人工透析・（特定の疾患における）在宅および往診								

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	高崎総合医療センター	群馬大学医学部附属病院
主な紹介先医療機関	せせらぎ病院	前橋赤十字病院	群馬大学医学部附属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 内視鏡検査	上部・下部消化管の内視鏡検査を専門に行っている。検査によって患者にとって適切な治療を提供・相談・紹介することが可能となっている。また、前橋市特定検診も積極的に受入れ、癌の早期発見に尽力している。
特徴的な 内視鏡治療	上部・下部消化管の内視鏡治療も専門に行っている。内視鏡検査によって適用診断を行い、疾患に応じて適切な内視鏡治療を提供している。病床を有しているため、通常の診療所では行うことが難しいESDやEMRという手技を行うことも可能となっている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	食道・胃・十二指腸等の上部内視鏡検査、また直腸・大腸等の下部内視鏡により癌の早期発見に努め、同時に早期治療を心がけている。また、専門外来や人工透析を有しているため包括的な診療がある程度は可能となっている。前橋市特定検診を積極的に受入れ、検診による癌の早期発見に努めている。
当院の未来像	高齢化社会に向かうに当たり、変化するニーズの中で総合的な診療を行うことが可能な診療所として機能させていく。内視鏡医療に特化した診療所として新しい技術等は積極的に導入していく。また、地域の機関病院、実地医科との密な連携体制を構築し、内視鏡検査（診断）・治療における地域の核として機能させていきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	安心して受けられる内視鏡検査をスタッフ一同努力して提供して参ります。消化器の症状があり、ご不安な方は是非当院で一度内視鏡検査をお受け下さい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	星医院
所在地	前橋市西善町204-1
沿革	平成3年3月に開院。 内科・外科・泌尿器科（他に糖尿病・肝臓専門外来もあり）を中心に総合型の外来診療を主体として始めました。 同時に入院も開始しています。 一般病棟19床：外傷等による急性期や慢性期・回復期等患者様の入院治療を行っています。 令和元年6月に内科医師が1名加わり、新たに血液内科・腫瘍内科の診療も可能になりました（日本血液学会認定専門研修教育施設）。

2. 病床について （病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		休棟中等	
	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	
	19	0	0	5	5	9	0					
	平均在院日数		日	日	3.0	日	日					
	病床稼働率		%	%	%	%						

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計		高度急性期		急性期		回復期		慢性期		廃止		介護保険施設等への移行	
	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	
	19	0	0	5	5	9	0	0	0	0	0	0	0	

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も現在と変わらず急性期や慢性期・回復期等患者様お一人お一人に合わせた入院治療を行っていきたく思います。また、血液疾患を中心とした化学療法や、がん治療後の支持療法のための短期入院も積極的に行っていきたくと考えております。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	8 科 (内科・血液内科・外科・消化器外科・肛門科・糖尿病内科・肝臓内科・泌尿器科)
------	--

現在	○	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
		救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
		「その他」の具体的な機能		人間ドック・健康診断								



将来 (2025年)	○	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
		救急		災害		へき地		周産期		小児		その他
		「その他」の具体的な機能		人間ドック・健康診断								

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	渋川医療センター
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	渋川医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> 院内において、医師・看護師・事務スタッフが密に連携を図り、患者様お一人お一人に合わせた診療・治療を心がけております。院内で対応困難な疾患については、基幹病院の先生方とのスムーズな連携体制をとっております。
特徴的な 診療体制	<ul style="list-style-type: none"> 内科医師と外科医師による2診体制で、地域の皆様のプライマリケアに常時対応できるようになっています。また、泌尿器科・糖尿病内科・肝臓内科・血液内科の専門外来を設置しており、これらの疾患を持つ患者様のニーズにも対応できるようになっています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より内科医師が増員となったことで、一般内科診療の充実に加えて血液内科診療が開始となり、患者様お一人お一人へのより細やかな診療を行えるようになりました。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 将来的にも、上記対応を中心として、患者様に喜んでいただける医療を目指したいと思います。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> 内科・外科、それぞれの部門で、待ち時間が少なく、より質の高い診療を提供していくことを目指します。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人健英会 うしいけ内科クリニック
所在地	前橋市元総社町1770-4
沿革	平成29年4月 特例在宅療養支援有床診療所として19床 開設

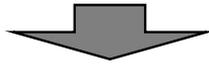
2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	床	19 床	床	床
	平均在院日数	日	日	13.7 日	日	
	病床稼働率	%	%	70.0 %	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



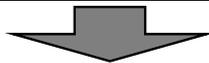
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19 床	床	床	19 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も地域医療を支える在宅療養支援診療所として協力病院と連携し、在宅復帰までの一時的入院であるレスパイト対応の充実も含めて、ベット機能を維持していく。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	6 科 (内科、神経内科、消化器内科、内視鏡内科、循環器科、リハビリテーション科)
------	---

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能							



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児		その他
	「その他」の具体的な機能							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬中央病院	済生会前橋病院	近隣無床診療所
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	群馬中央病院	老年病研究所病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 連携を伴う迅速な入院対応およびQOLの低下を防ぐリハビリの実施	在宅医療を行っている医師の患者状態により病状悪化等の入院要請に対し、迅速に対応しながら、入院患者のQOL低下を防ぐ目的で理学療法士及び作業療法士による運動器リハ、廃用リハ等を積極的に行っている。
特徴的な 往診での胃瘻交換の実施	在宅や施設での胃瘻造設後の患者に対し、往診時にて胃瘻交換を積極的に受け入れ交換等を実施している。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	外来では通常の外来診療と共に訪問診療を行いながら、在宅及び施設等に約70件程度の往診も実施している。また、市内の無床在宅医より脱水、肺炎、心不全等を中心とした病状悪化患者の受け入れ、施設入居者の状態悪化に伴う入院の受け入れ、急性期病院から在宅までの一時的な療養であるレスパイト対応等、看取りも含め対応中である。併設の訪問看護、訪問介護ステーションもあることから、在宅支援を積極的に行っている。
当院の未来像	現在の対応と変わることなく、在宅療養支援に特化した診療体制と地域に根ざした外来対応を行い、ニーズの高い整形外科の増科を視野に入れ将来も対応していきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	地域包括ケアシステムにおける地域住民の健康管理及び維持に寄り添い、敷居の低い、親しみのある診療所を目指しています。気軽に相談、診察等できる体制を今後も維持していきます。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人 春光会 宮久保眼科
所在地	群馬県前橋市荒牧町2-3-15
沿革	平成5年 : 開院 一般病床6床 平成26年 : 新病院へ移転 一般病床6床

2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	6 床	床	6 床	床	床	床
	平均在院日数	日	1.0 日	日	日	
	病床稼働率	%	12.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	6 床	床	6 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	引き続き、急性期医療を中心に、医療を提供していく。 群馬県の北部・東部から手術紹介患者が多い為、通院困難な患者様の手術後の入院治療を提供する。 患者様の希望に添えるように対応する。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	1 科 (眼科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	いその眼科	かなめ眼科	横地眼科
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部付属病院	前橋赤十字病院	北関東循環器病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 当院の理念	<p>『最新』、『納得』、『快適』の理念のもとに診察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の検査機器による検査・診断・治療をする。 明快なご説明をし、納得し、安心していただく診療をする。 患者様に寄り添う思いやりある対応、待ち時間短縮のためのシステムの改善、快適な医療空間の提供を目指して努力する。
特徴的な 当院の手術	<ul style="list-style-type: none"> 白内障手術、涙道閉塞手術、眼瞼形成手術、硝子体手術を専門とする眼科であり、豊富な経験をもとに、安心して治療を受けていただけるように努力している。 白内障手術は開院より実施し、直近3年間は年に約1000人の手術をおこなっている。 涙道閉塞手術は涙道内視鏡を用いている県内でも数少ない眼科である。涙道内視鏡を使った涙管チューブ挿入術や涙囊鼻腔吻合術などの涙道閉塞手術を施行している。 2020年11月より硝子体手術を開始し、さらに地域のニーズにこたえていく予定である。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 当院は、地域の皆様のホームドクターとしての眼科である。 外来は角結膜から緑内障、網膜疾患など幅広い病気に対応している。 当院で手術をおこなっていない緑内障手術や網膜疾患の手術については、適切な時期に他院への紹介をおこない、術前術後の経過観察や治療は連携しておこなっている。 手術は白内障手術、涙道閉塞手術、眼瞼形成手術、硝子体手術を専門とする眼科であり、患者様の状況に応じて入院にも対応している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 将来も当院の理念を基に、地域のホームドクターとして外来診療を行う。 常に最新、納得の医療を目指し努力する。 各職種間の連携を常に密にし、チーム医療をおこなう。 各自の専門知識を深め、それを学びあうことで、全体のレベルを上げることを目指す。 引き続き、親切で温かみのある対応を心がける。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<p>今後も</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業25年以上の経験を活かし、皆様の訴えに誠実に耳を傾けていく。 最新の検査機器による検査を実施し、最新の知識・技術を身につけて、診断・治療を心がけていく。 知識・技術の向上、最新の医療機器の導入の他、患者様に寄り添う思いやりある対応、待ち時間短縮のためのシステムの改善、快適な医療空間の提供をめざして努力する。 コロナウィルスによる院内感染の予防を実施する。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	前橋温泉クリニック
所在地	前橋市関根町2丁目10-1
沿革	2005年 開業2020年 標榜科変更

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	8 床	床	床	8 床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	日	日	日	
	病床稼働率(※2)	%	%	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	8 床	床	床	8 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現状と同様の予定です。
-------------------	-------------

3. 医療機能について

診療科目	科 (整形外科 内科 美容皮膚科)
------	---------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	検査、療養等、自費の入院のみ対応				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	同上				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	善衆会病院	渋川医療センター
主な紹介先医療機関	同上	同上	同上

5. 当院の特徴について

特徴的な 予防医療	現在の傷病の治療はもとより、増悪を最小限に抑えるための生活習慣病予防指導、現状の状態を把握するための諸検査の実施により、介護予防、疾病予防をしていくことで健康寿命の増進を図ります。
特徴的な 温泉療養	併設の温泉施設を利用して、術後の自主的なリハビリ、腰痛、膝痛などの改善、予防のための水中歩行を推奨しています。また生活習慣病のもとになる肥満解消のための減量目的の入院が可能です。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	2020年4月に標榜科を変更し、リニューアルオープンしました。外来は、おもに整形外科疾患の患者さんが多く、次いで内科、美容皮膚科を受診する方が多い状況です。今年はコロナウイルスの影響で療養入院、検査入院の方はほとんどいない状況でした。
当院の未来像	今後とも生活習慣病やロコモティブシンドロームを予防することの重要性を伝えながら来院した方ひとりひとりに向き合って対応していきます。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	介護予防、健康寿命の増進には食事や運動、ストレスの解消などの生活習慣の見直しが重要です。病気や怪我の治療と共に予防についてもっと考えていただけるようにアドバイスします。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人恵泉会 あさくら スポーツ リハビリテーション クリニック
所在地	群馬県前橋市朝倉町249-1
沿革	平成15年：無床診療所「せせらぎ病院附属 あさくら診療所」として開院 平成16年：一般病床（急性期）19床を開設して、整形外科およびリハビリテーション機能病床として稼働 平成20年：バイオクリーン手術室を増設して、人工関節手術やスポーツ外傷手術に対応 平成30年：「あさくら スポーツ リハビリテーション クリニック」に名称変更 現在に至る

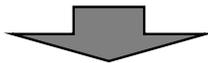
2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19 床	床	19 床	床	床	床
	平均在院日数	日	16.7 日	日	日	日
	病床稼働率	%	61.9 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間） / (新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）) / 2)

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19 床	床	10 床	9 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も整形外科疾患について、 ①人工関節手術や鏡視下靭帯再建術などの手術治療を継続し、術後治療の急性期病床として地域医療に貢献していく。 ②回復期リハビリテーション機能をより充実させ、高度急性期病院からの転院を積極的に受け入れるように計画している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	2 科 (整形外科・リハビリテーション科)
------	-------------------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、整形外科手術				



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、整形外科手術				

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	群大医学部附属病院	群馬中央病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	群大医学部附属病院	群馬中央病院

5. 当院の特徴について

特徴的な スポーツ医療 および 関節外科手術	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の整形外科専門医による適正な診断に基づき変形疾患などに対して人工関節手術などの高度な医療を提供する。 ・プロサッカー選手などを診察する資格を有するスポーツ専門医により、多くのスポーツ障害や外傷例に対しても積極的に医療を実践している
特徴的な リハビリ テーション	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション専門医による適切な診断と理学療法指導を行う。 ・アスレチックリハビリテーション資格を有する理学療法士によりスポーツに特化した専門的なリハビリテーション医療を提供する。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県内外の学生やスポーツ愛好家からプロスポーツ選手までを対象に、先端的なスポーツ医療を提供している。 ・最新の理学療法学に基づき、小児から高齢者までを対象にリハビリテーション治療を実践して、地域医療に貢献している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・常に新しい知識および医療技術を習得して、質の高いスポーツ医療およびリハビリテーション医療を提供する。 ・最新の医療手術機器を積極的に導入し、より高度で先進的な整形外科手術に対応できるようにする。 ・高度急性期病院からの病診連携を強化して、回復期リハビリテーションユニットの充実を図る。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医療およびリハビリテーション医療を通じて、広く地域医療に貢献してまいります。 ・スタッフ全員が常に自己研鑽を図り、新しい医療知識及び技術を患者様に提供します。 ・クリニックの特徴を最大限に生かせるように、患者様にはキメ細やかな医療を提供してまいります。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団中嶋会 中嶋医院
所在地	前橋市小屋原町976-1
沿革	昭和55年12月19日：開設許可 昭和56年1月1日：19床の有床診療所開院 令和5年1月31日まで救急医療の救急告示診療所 平成12年3月13日：医療法人社団中嶋会中嶋医院開設（一般病床11床、診療所療養型病床8床） 平成13年4月1日：介護保険適用病床4床辞退し医療保険適用病床8床 平成14年4月1日：介護老人保健施設（一般60床→90床）開設しています。 令和元年10月10日：介護老人保健施設10床増床許可。令和元年100床に増床

2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	19床	床	床	床
	平均在院日数	日	30.4日	日	日	日
	病床稼働率	%	106.9%	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



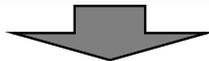
将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	19床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	主に市内の救急病院からの急性期及び慢性期の受け入れ、他の連携診療所を含めた診療所からの救急患者及び救急搬送患者の受け入れ等や在宅復帰まで急性期から維持及び慢性期の一貫した治療を行う病床を計画している。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	科（外科、循環器科、胃腸科、皮膚科、整形外科、泌尿器科）
------	------------------------------

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		在宅療養支援診療所、救急告示医療機関			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		在宅療養診療所を充実し、地域包括支援システムとの連携			

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	善衆会病院	伊勢崎市民病院
主な紹介先医療機関	伊勢崎佐波医師会病院	県立心臓血管センター	JCHO群馬中央病院

5. 当院の特徴について

特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外科、循環器科、胃腸科、皮膚科、整形外科、泌尿器科を軸に、院内で専門医同士がその都度、木目細かく連携を図り、全身管理を念頭に置いた総合的な診療を提供している。 ・ 救急搬送については断らない姿勢を開院当初から現在まで引き継いでおり、迅速かつ丁寧に正確な対応を心掛けている。現在、年間約100台以上の救急搬送を受入れている。
特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療（訪問診療、往診等と常時24時間体制の維持継続）を重点項目としています。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19床の有床診療所（一般病床11床、医療型療養病床8床）で地域の病院やクリニックより紹介患者常時受入れています。在宅支援としての在宅療養支援診療所であり、訪問診療や緊急往診等実施し24時間対応しています。 ・ 救急医療機関としての救急診療所の指定を受け、年間約100台の救急搬送を受入れています。特に夜間、休日は皮膚科の救急患者は全県下からの来院があります。 ・ 併設老健100床との連携と地域の医療機関や介護事業所等との連携は特に重視しています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19床の有床診療所は一般病床の11床はそのまま、8床の医療型療養病床は一般病床に戻すか、現状維持を考えています。又、昭和56年の開院時の公約である地域住民の為に24時間対応の有床診療所は約束どおり継続する予定です。 ・ 地域包括システムの強化の為に、有床診療所の職員のスキルアップや最新の設備や機材を整えて、地域の皆様のニーズに答えられる診療所として進化していくと共に、介護老人保健施設は当初の念願どおり令和元年11月には100床となりました。訪問リハビリも令和2年8月より開始しています。 ・ 平成31年4月より泌尿器科増科（泌尿器科専門医）となりました。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急医療はもちろんのこと、地域の皆様が必要とする医療を第一に考え、誠心誠意、心のこもった医療・介護を提供してまいります。 又、身体の続く限り、診療日は勿論、休日・夜間・時間外も救急患者は受入れるつもりですので気軽に御利用して頂ければ幸いです。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	マザーズクリニックTAMURA
所在地	群馬県前橋市小屋原町584番地1
沿革	平成27年：周産期病床（急性期）15床にて開院 現在に至る

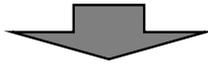
2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	15 床	床	15 床	床	床	床
	平均在院日数	日	7.5 日	日	日	日
	病床稼働率	%	41.0 %	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	15 床	床	15 床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も高度な周産期医療を提供していくとともに、妊娠・出産・育児期と長きにわたって母子への安定した知識提供・環境づくりに力を注いでいきたい。
-------------------	---

3. 医療機能について

診療科目	2 科（産科・婦人科）
------	-------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	○ 周産期	小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	上条女性クリニック	いまいウィメンズクリニック	
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	伊勢崎市民病院	群馬県立小児医療センター

5. 当院の特徴について

特徴的な 接遇	おもてなしの心をスタッフ一同大切にし、妊娠・出産・産褥と安心して過ごせるよう接遇を心がけている。患者様からの質問には的確に答えることができるよう定期的に勉強会や意見交換会を実施し知識の共有に努めている。
特徴的な 知識・技術・態度	正常・異常の判断を的確に行い、必要な場合は迅速に高度医療機関への救急搬送の準備を行う。正確な判断を行うため母体救急の研修会、NCP Rの取得などを引き続き積極的に行っている。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> 胎児スクリーニング等により異常の早期発見に努め、的確な治療や処置が受けられるように高度医療機関と密に連携を図っている。分娩数が増加してきている為、今後医師の確保を行い、引き続き安全に分娩対応できるよう体制を整えていく。妊産褥婦へのコミュニケーションの場を提供する為、様々教室を開催している。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> 妊産婦のコミュニケーションの場を更に充実させて行く為、スタジオの増設を行っていきたい。 医師、看護職員の更なる増員を行っていきたい。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	患者様の話をきちんと聞き、お一人お一人と向き合い納得して医療を受けて頂けるよう努めてまいります。ご質問等ございましたら小さなことでも気軽にお声かけ下さい。

2025年への対応方針

1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団三矢会 前橋広瀬川クリニック
所在地	群馬県前橋市千代田町二丁目10-9
沿革	平成13年4月：有床診療所一般病床19床にて開院。 平成20年12月：有床診療所一般病床19床を引き継ぎ、現在の千代田町二丁目へ移転 現在に至る

2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	床	床	床	19床
	平均在院日数	日	日	日	45.1日	日
	病床稼働率	%	%	%	43.9%	%

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来(2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	床	床	19床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	患者さんが、急性期病院から自宅や施設へスムーズに移動できるように、その間を取り持つ中間施設としての役割を引き続き、果たしていく予定です。
-------------------	--

3. 医療機能について

診療科目	5科 (内科・腎臓内科・リウマチ科・糖尿病内科・循環器内科)
------	--------------------------------

現在	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害		へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	透析療法、健康診断							



将来(2025年)	がん	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	○	在宅医療
	救急	災害		へき地		周産期	小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	透析療法、健康診断、保健指導							

4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部付属病院
主な紹介先医療機関	前橋赤十字病院	済生会前橋病院	群馬大学医学部付属病院

5. 当院の特徴について

特徴的な 専門医療	<ul style="list-style-type: none"> ・リウマチ膠原病、腎臓病、透析療法、糖尿病の専門医が常勤として勤務しており、この分野における最先端の医療を受ける事ができます。 ・診療所であり、受診しやすい環境にあります。（土曜日も診療しています） ・心臓血管疾患、消化器疾患に関しても、群馬大学医学部付属病院等の専門医に非常勤医師としてサポートしてもらっています。
特徴的な 予防医療	<ul style="list-style-type: none"> ・前橋市成人健康診査、企業健診などを専用フロアで行い、リラックスした環境で健診を受ける事ができます。保健指導も行っております。

6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の専門であるリウマチ膠原病、腎臓病、糖尿病の患者さんが、多数外来通院されています。 ・約90人の患者さんが、当院で維持透析を受けています。 ・心臓疾患、脳疾患などの救急疾患の患者さんは、連携している前橋赤十字病院、済生会前橋病院、群馬大学付属病院、群馬中央病院、県立心臓血管センターなどに迅速に紹介しています。 ・当院周辺の千代田町、城東町は急速に住民の高齢化が進んでおり、訪問看護などの在宅医療を行っています。
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の専門であるリウマチ膠原病、腎臓病、糖尿病の診療に一層力を入れていきたいと思っております。 ・19床の有床診療所であるので、患者さんが、急性期病院から自宅や施設へスムーズに移動できるように、その間を取り持つ中間施設としての役割を積極的に果たしていきたいと思っております。 ・訪問診療、訪問看護などの在宅診療に力を入れていきたいと思っております。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当クリニックは、リウマチ膠原病、腎臓病、糖尿病の診療を得意とする施設です。患者さんに質の高い医療を提供できるよう4名の常勤専門医が診療に当たっております。 ・私たちの得意とする分野は、関節リウマチに対する生物学的製剤使用、多職種連携による慢性腎臓病の管理、新しい薬剤による糖尿病治療など、近年進歩が著しい分野です。その為、専門的知識と経験が必要とされています。この点においては、患者さんにご満足していただけていると思っております。患者さんのお役に立てるよう、スタッフ一同、真心を持って診療に当たりますので、よろしくお願いいたします。